

## 《「ニーズ調査」からみた子育てに関する意識》

子育てについての意識をみると、子育てを楽しんでいる人が多数を占める一方、苦痛を感じたことがある人が5～6割程度みられ、子育てに負担感を感じている人が多いことがわかります。

また、虐待をしているのではと思ったことがあると答えた人も40%以上みられ、その場面としては、感情的な言葉を発してしまった時、子どもに手をあげてしまった時などをあげた人が多くなっています。

子育ての悩みや不安を持っている人は8割以上と、多数の人が子育てにおける悩みや不安を抱えています。

その悩みや不安の内容としては、「子どもの性格やくせに関すること」、「子どもの教育に関すること」、「子どもの病気や発育・発達に関すること」、「子どもを叱りすぎているような気がする」となどが多くなっています。

こうした悩みや不安の相談相手としては、「配偶者・パートナー」、「親や兄弟姉妹などの親族」、「友人」が多くなっています。

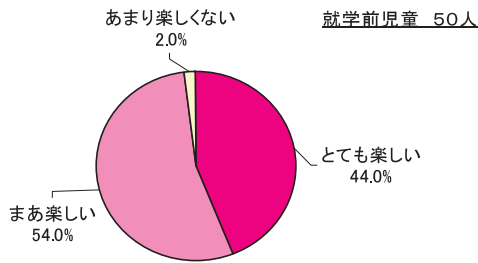
「保育所の保育士や幼稚園・学校の先生」も多くなっていますが、こうした日常的に関わりがある人以外は、地域で身近に相談できる人は、あまりあげられていません。

養育者が病気など、何かあった場合、図2-3-23のとおり、ほとんどのケースで8～9割の人が支援してくれる人を有していますが、「常日頃あなたの気持ちを敏感に察してくれる人がいるか」については、就学前児童・小学校児童共に、5～6割と、少なくなっています。

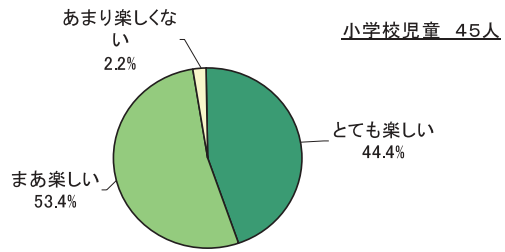
また、まったく支援者がいないと答えた人も1～2%とわずかではありますが、存在しています。

少子化、核家族化の進行等により、子育てをめぐる環境も大きく変化し、身近な支援者の不在、育児情報の氾濫などにより、育児に対して不安や負担感を感じやすくなっている傾向があるといえます。それでも、負担感を感じながらも、子育てが楽しいと感じている人が大半で、何らかの負担感などの解消方法を有していると思われるのですが、特に、子育てが楽しいと感じられず、負担感をも持つ母親に対する支援が急がれます。

図2-3-16 子育てが楽しいか

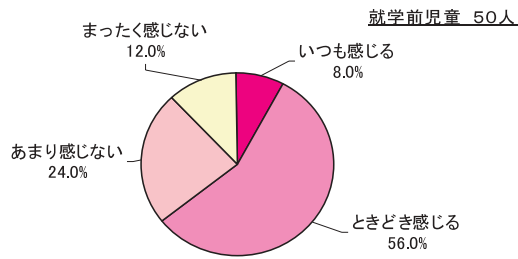


資料：次世代育成支援に関するニーズ調査（平成16年度）

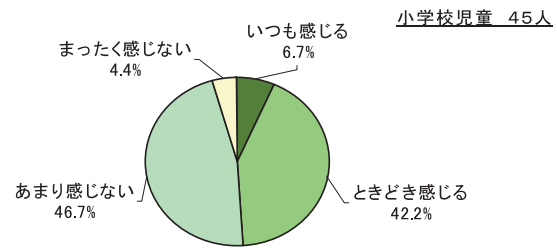


資料：次世代育成支援に関するニーズ調査（平成16年度）

図2-3-17 子育てに苦痛を感じることの有無

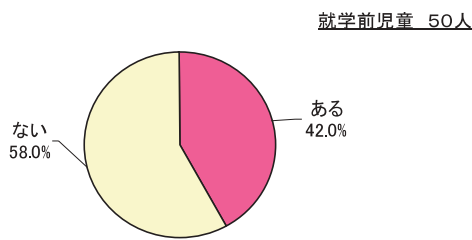


資料：次世代育成支援に関するニーズ調査（平成16年度）

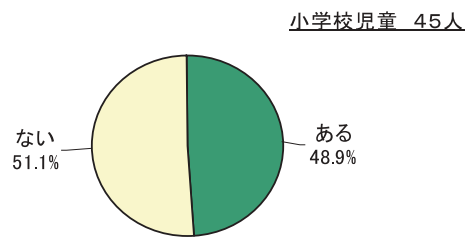


資料：次世代育成支援に関するニーズ調査（平成16年度）

図2-3-18 虐待をしているのではと思ったことの有無

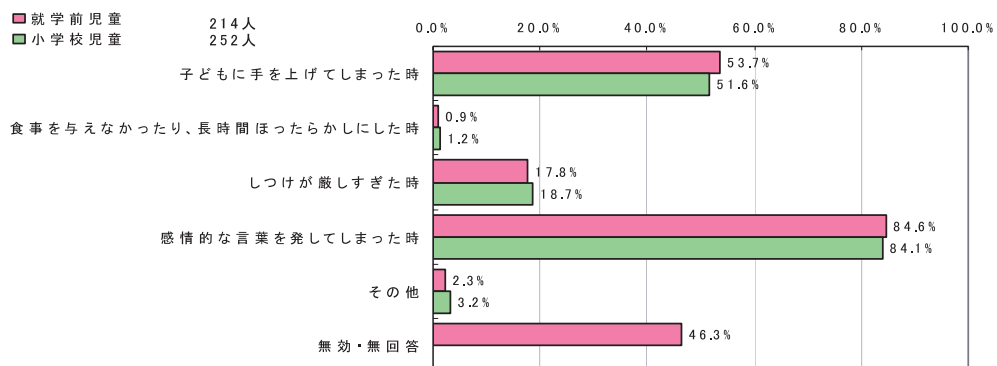


資料：次世代育成支援に関するニーズ調査（平成16年度）



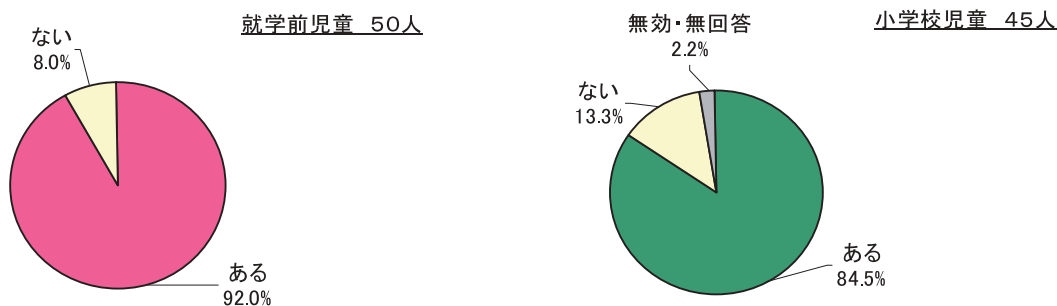
資料：次世代育成支援に関するニーズ調査（平成16年度）

図2-3-19 虐待をしているのではと思う時



資料：次世代育成支援に関するニーズ調査（平成16年度）

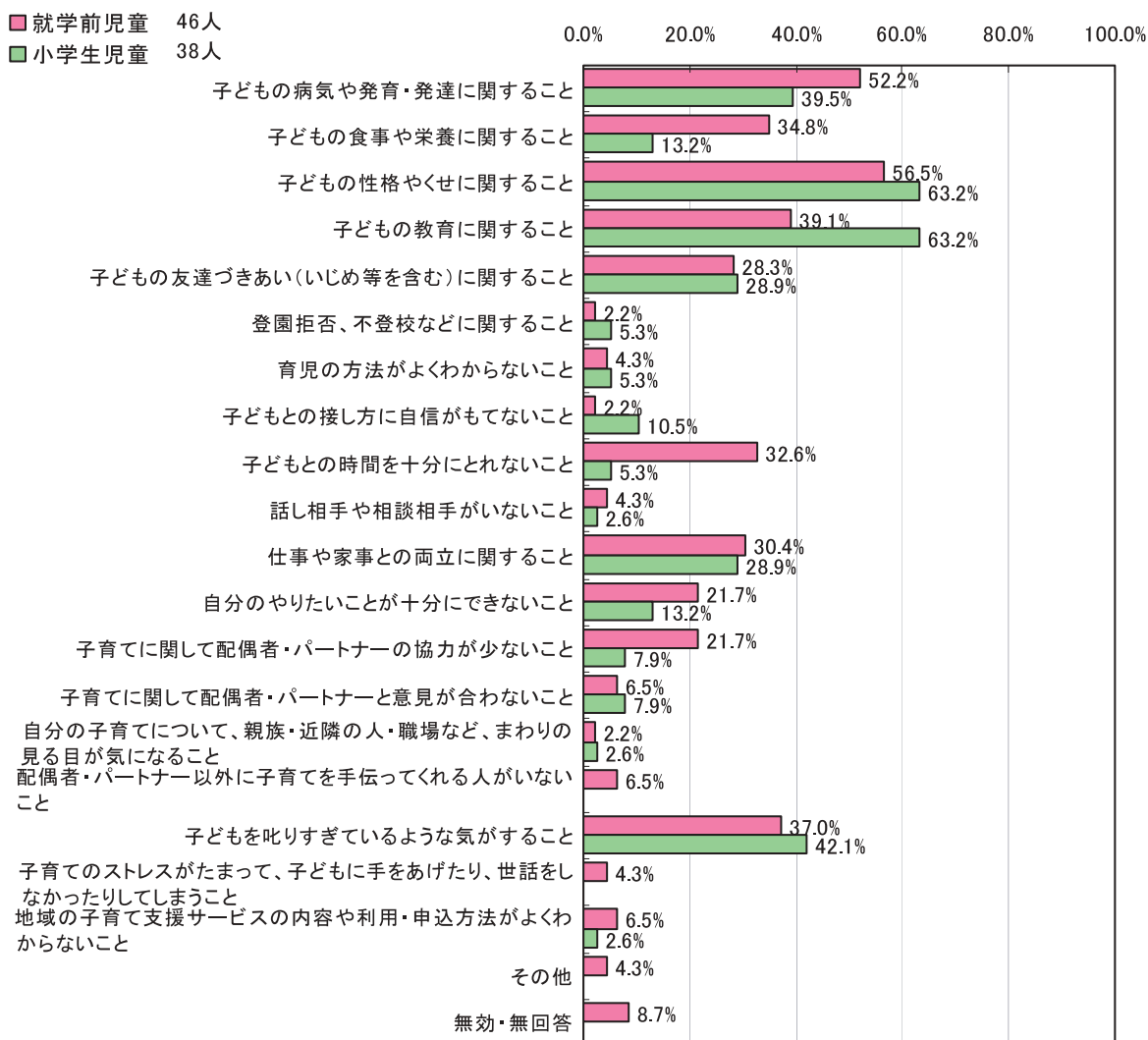
図2-3-20 子育ての悩みや不安の有無



資料：次世代育成支援に関するニーズ調査（平成16年度）

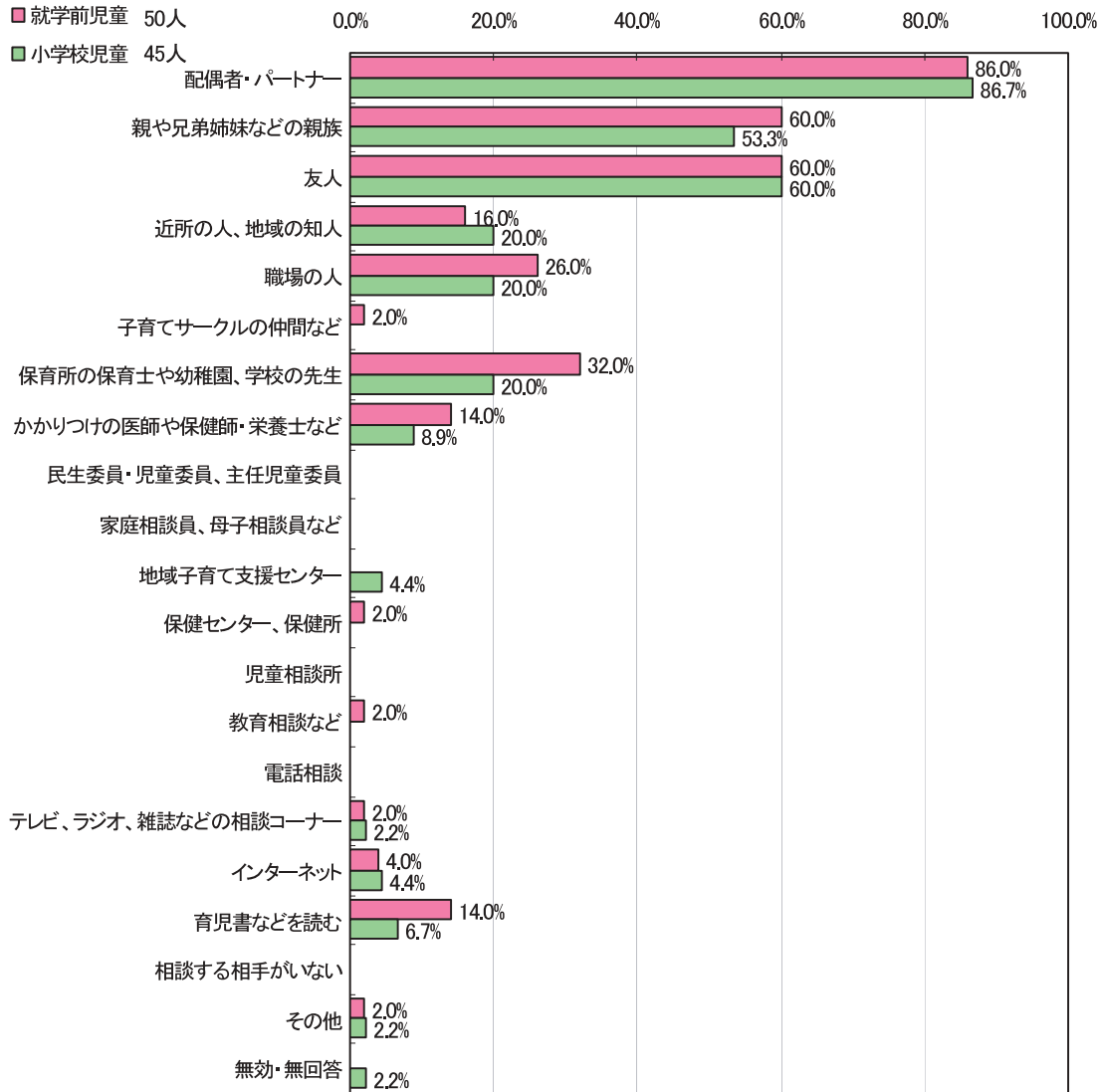
資料：次世代育成支援に関するニーズ調査（平成16年度）

図2-3-21 子育ての悩みや不安の内容



資料：次世代育成支援に関するニーズ調査（平成16年度）

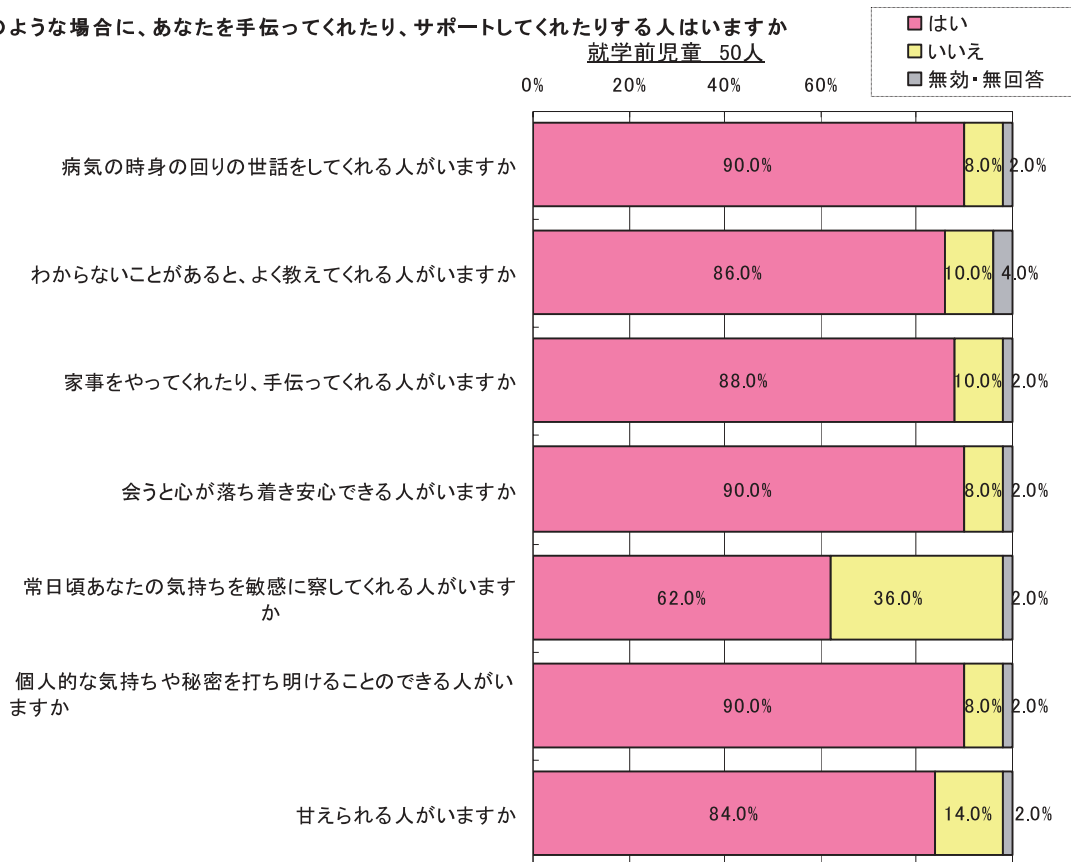
図2-3-22 子育ての悩みや不安の相談相手



資料：次世代育成支援に関するニーズ調査(平成16年度)

図2-3-23 子育てにおける支援者の有無

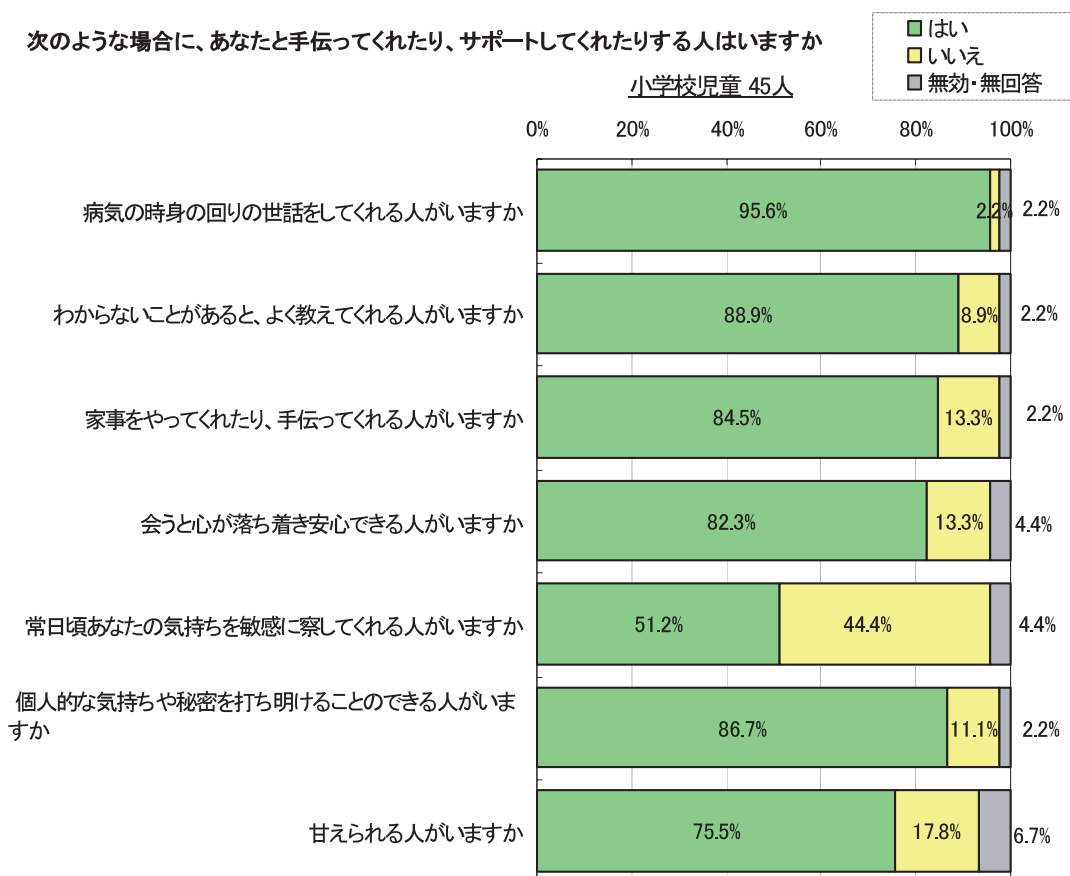
次のような場合に、あなたを手伝ってくれたり、サポートしてくれたりする人はいますか  
就学前児童 50人



資料：次世代育成支援に関するニーズ調査（平成16年度）

次のような場合に、あなたと手伝ってくれたり、サポートしてくれたりする人はいますか

小学校児童 45人



資料：次世代育成支援に関するニーズ調査（平成16年度）